



Woman's Talk

「作品や役を通して社会貢献していけたらいいな」

広末涼子さん

(女優)



(撮影:宮本直孝/取材:文:宮本恵理子)

映画『終わった人』が公開中の広末涼子さん。「とても前向きなメッセージが込められている映画です」と語る広末さんに、8つの質問。

Q1 公開中の『終わった人』、どんな作品?

定年を迎えた元エリート社員の悲哀をコミカルに描きながら、「第二の人生」や夫婦のあり方をどう築いていくかという、大きなテーマを突きつける作品です。内館牧子さんの原作もとても面白く、「映画ではどんな世界になるんだろう?」と想像を膨らませていましたが、館ひろしさんと黒木瞳さんが夫婦を演じると聞いて、夢のある物語になると納得。とても前向きなメッセージを送る映画になっていると思います。

Q2 役作りで工夫したところは?

私が演じるのは、主人公の男性の恋心を掻き立てる女性。脚本を読んだ時、演じ方は2パターンあると思いました。作画的に恋心を導く小悪魔系か、まったく意図せず勘違いさせてしまうマイペース天然系か。後者を演じることで監督と意見が一致したのでスタートは順調でしたが、100%天然な素ぶりを演じるのは難しかったです(笑)。

Q3 演じる役は新鮮だった?

そうですね。妻帯者に近づく女性という役柄はあまり演じたことがないので。母娘役と一緒にいた黒木さんと恋敵になる年頃になったことも感慨深く、時の流れを感じます。特に30代半ばに入ってから、毎回、新境地に挑んでいます。演じる役によって視野が広がって、人としても女性としても成長させていただける。演じる仕事は、ゴールがない一生ものですね。

Q4 芸歴20年超。「演じる魅力」に変化は?

10代でデビューした当時から、演じることは夢であり目標であり、自分の天職だと思っていることに変わりはありません。でも、若い頃はいろんな分野にチャレンジさせてもらいながらも視野が狭く、変なやりきった感にとらわれていたかも。今はいい意味で演じる自分が自分の一部になっていて、より長いスパンで付き合えるように。世の中の事象も身近にとらえる感覚が身につけてきて、作品や役を通して社会貢献していけたらいいなと思うようになりました。

Q5 透明感のある美肌をつくる習慣は?

肌のためには食事と睡眠をおろそかにしないこと。普段口にする食事から太陽や地球の恵みを取り

入れようと心がけています。以前、役作りのために極端に油を抜くダイエットをしたら、たった1週間で乾燥肌になりました。メイクさんから「涼ちゃん、粉ふき芋みたいだよ!」と驚かれたんです。食事の力はすごい、と身

をもって知ってから、栄養の知識も積極的に吸収するようになりました。家庭を持ってから生活リズムは自然と安定しましたが、やりたいことが多過ぎて睡眠不足になってしまったり。いい仕事に打ち込んで、安心して家庭にも向き合える環境づくりをしていきたいと思っています。肌のためには保湿が大事ですね。

Q6 好きな家事は料理派? 掃除派?

最近、「私、お料理が好きなのかも!」と気づいたんです。久しぶりにお友達を招いてランチ会を開いたら、献立決めや食材選びもすごく楽しくて。「お品書き」まで準備したらワクワクして眠れなくなってしまいました(笑)。若い頃から料理は好きでしたが、おもてなしも加わると余計に楽しめますね。おもてなし料理が好きなのだと気づいたので、もしも「第二の人生」があるとしたら、小料理屋でも始めたいな。日本だと落ち着かないかもしれないから、海外で、着物を着て(笑)。

Q7 時間があつたらしたいことは?

いっぱいあります。先日、フラワーアレンジメント教室に誘われて、気恥ずかしくも参加してみたらとても楽しかったです。お花に囲まれて無心になる時間、大事ななと思いました。忙しくても没頭できる趣味の時間をつくるのが、ゆとりや発想を生んでくれるはず。習字、陶芸、水泳...リストはまだまだ浮かびます。

Q8 バッグの定番は?

プロポリスとハンドクリーム! プロポリスは喉ケアと風邪予防に。ハンドクリームは家事で手が荒れるので、家でもキッチンや洗面所に置いています。今日も「忘れていないかな?」とバッグを覗いたら、なぜか3本も入っていました(笑)。

ひろすえりようこ 1980年高知県生まれ。94年、CMコンテストでのグランプリ獲得をきっかけにデビュー。映画出演作の『おひびと』(2008年)、『ゼロの焦点』(09年)では日本アカデミー賞・優秀主演女優賞を、『鉄道員』(1999年)、『鍵泥棒のメソッド』(2012年)で同助演女優賞を受賞するなど、実力派女優として活躍を続ける。近年の出演作にドラマ『奥様は、取り扱い注意』(2017年)、映画『ラブドック』(2018年)など。最新の映画出演作『終わった人』が公開中。

インタビュー後記

カメラマンに示された位置に立った途端、その場の空気はトーンを変えてしまうようなオーラを放った。シャッター音に合わせて、顔の角度を変える度に表情が決まるのは、成熟と呼べるキャリアを重ねた女優ならではの。一方で、語り出すと、気負いのない感情を解放する。謙虚で丁寧な言葉遣いが印象的だった。

Interview&Present

長く便利に快適に使える
ハンディフードプロセッサー
「抽選で3名様に!」
ボンマルシェアンバサダーに
「パーミックスM300」プレゼント!

1954年にスイスで誕生したパーミックスと、井手櫻子さん(株式会社チェリーテラス代表)の出会いが35年以上前。「日本ではまだ見慣れない調理家電でした。使ってみると、シンプルな構造で自分の手のような感覚で使え、1台で何役もの調理がこなせて、料理のワクワクする楽しさを教えてくれました。この素晴らしさを一人でも多くの方にお伝えしたい!そんな素直な思いで1983年に会社を創業。キッチンツールは良いものを大切に長く使いたい。のためには便利で、丈夫で、飽きのこない、でも光るデザインのものという基準にパーミックスはぴったり。今でも創業の地スイスで製造し続けるアルチザン魂も尊敬しています(井手さん)



プレゼント応募方法
[インターネット]
https://que.digital.asahi.com/epost
[スマートフォン]
下記QRコードからアクセスしてください。
締め切り6月29日(金)
※抽選の上、発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。※個人情報情報は賞品発送のほか、インターネット応募ページに記載された目的で利用します。
広告主提供



プレゼントのご応募はこちら
2014年には、長年にわたり広く支持され続けてきたことが認められ「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」受賞。5年保証で、アフターサービスも充実。

Book Lovers vol.10



『水丸さんのゴーチチゴ』

安西水丸は1970年代から、イラストレーターを中心に、漫画家、エッセイスト、絵本作家として活躍しながら、多彩な趣味人であったことで知られていますが、「水夢」という俳号を持ち、俳句も嗜んでいました。本書は、彼が生前に詠んだ俳句と、彼のイラストレーションと共に編んだ初の俳句集。作風のなさと明瞭さの先にある味わいは、芭蕉の「かるみ」に似ているように思われます。安西水丸の詠み、季節や日常、詩心を彼のイラストレーションと共に存分に楽しめます。(解説:銀座 高屋書店 ブックコンシェルジュ:遠山浩行)
びあ刊(1,389円+税別)
銀座 高屋書店 ☎03-3575-7755
https://store.tsj.jp/item-detail/architectural-design/13802.html



Bon Marché

LYCRA® fiber Story vol.26

[靴下編]

はいてみたら「これって、どうして?」「はいてることを忘れていた!」

“Tabio タビオメンズ「ロングホーズ」”

男性の足元って、意外と目に入るものだと思いますか? でも、スーツスタイルは隙なく決めているのに靴下は油断している、という人も多く見受けられます。そこで、今回は、紳士のおしゃれの必需品「ロングホーズ」をご紹介します! (撮影:奥村恵子/スタイリスト:斉藤伸子/取材:文:ボンマルシェ編集部)

Tabio MEN(タビオメンズ) シルケット9×2リップロングホーズ
(綿62%、ナイロン35%、ポリウレタン3% 全12色・各1,400円/税別)

裏糸に使用のライクラファイバーでフィット感と快適性を両立! 職人の卓越した技術と細やかな配慮で丁寧に仕上げられた編み地や、一目一目手作業で作りこむつま先のリンク加工など、細部にまでこだわりの、ジャパンメイドの名品です。

- 1 はき口は とてもソフト
- 2 ふくらはぎをやさしく包み込むようにサポートする伸縮性
- 3 スーツ姿をおしゃれに見せる色と控えめな艶
- 4 卓越した技術で編まれた脚部。脚をスマートに見せる
- 5 綿素材で肌触りと通気性抜群
- 6 リンク加工でこすりつき防止
- 7 かかとをしっかりと包み込むゴアライン

「ロングホーズ」(「ハイソックス」は紳士のスーツスタイルに欠かせないアイテムです。なぜ? それは、18、19、20世紀と男性ファッションが変遷する過程で、紳士の嗜みの必需品となつたのが「ロングホーズ」だからです。21世紀の今も、欧米では特に正装に必須なもので、たるんだ靴下を上げる動作や、足を組んだ際に見える素脚はマナー違反とされます。こうした紳士の装いの伝統とメイドインジャパンにこだわるTabio社の「ロングホーズ」は、男性のふくらはぎをすっきりカバーしてズレにくく、ひざを曲げた際に見える足首も美しく映えます。また、蒸し暑い季節でも、スラックスと肌の触れ合う部分が少なくすみます。伸縮性に優れた「ライクラ®ファイバー」が採用されているので、はき心地も快適です。紳士の常識「ロングホーズ」にぜひチャレンジを!

「ロングホーズ」は、はいてるのを忘れるくらいラクで、普段の靴下と比べるとはき口がきつくて足首にもたつきが出るかも? という先入観が「ロングホーズ」で見事に消えた! (40歳会社員)「これまで日に数回ははき口を引くことが多かったが、それも無く、スリッパに自信が持てた。45歳会社員」「ロングホーズは秋冬の防寒も兼ねて、とつい込んでいたが、今の季節でも通気性がよく靴下よりも快適だった! (29歳会社員)」

大切なあなたへ
色が楽しい「マルチポーター」も!
カジュアルビズにコーディネートする靴下は、おしゃれなマルチポーターを! カラーバリエーションで複数枚揃えておくとも便利。プレゼントにも最適です。ライクラ®ファイバーが使われているので快適なはき心地が楽しめます。

あなたの想いに
フィットする
「ライクラ®ファイバー」
ライクラ®ファイバーは伸縮機能を与えているポリウレタン繊維のランドです。その伸縮性は糸の太さや生地の種類によって様々な変化をもたらします。ライクラ®ファイバーは、アウターウェアからスポーツウェア、インナーウェアなど様々なアイテムに採用されています。ライクラ®ファイバーを採用したアイテムを着用すると、体に程よくフィットしながら動きやすく、快適な着心地が楽しめます。伸縮機能が必須なサポーターや着圧製品にも多く採用され、私たちの日常を快適にサポートしてくれる繊維です。

Tabio タビオ商品のお買い求めは
Tabio 検索 www.tabio.com/jp/

東レ・オペロンテックス株式会社 www.toray-opt.co.jp *ライクラ®(LYCRA®)はインビスタ社の商標です。